

エコんのくんが後押し 積年の雪辱果たす！ 福島わらじ祭り



▼編集人です、こんにちは。今年は勝ったんで、もう少しお付き合いです。で、走ってる写真は、号外でも御覧いただきたいと思うので、本紙面は、また別の角度からお伝えしましょう。▼右上写真、見えますか？そう、ご存知「エコんのくん」ですね。企業キャラ作ろう！と、社長含む有志による発起が、四月の所長会議。ATM高橋塾長がすぐ乗って社内公募開始。グループ挙げて二十件ものエントリーがあった。アイクリン吾妻さんの作品に決まったと思つたら、もう、こんなところにいるんです。早いこと早いこと。今年度の行動指針そのものですね。こういう組織だから、競争にも勝てるんです。だつてほら、まず、わらじ競争に勝ちました。なんだかビジネスでも勝てる気がしてきませんか。その気になった仲間達が集まった組織は、強いですよ。▼さて、今年の「野郎ども」を改めてご紹介。左上写真、後列左から、「最強アンカー」エコんの福島渡邊寛人、「仙台の早駆野郎」アイクリン仙台永野久直、「営業スタミナ野郎」アイクリン春日部上原弘行、「硬球改め軟球野郎」大桃茂則、「常連健脚野郎」アイクリン福島山田英之、「隠れた、ベテラン野郎」エコんの春日部安藤航、前列左から、「キャプテンアメフト野郎」エコんの札幌高橋雅之、「巨人の山口似野郎」エコんの八王子古川寛之、社長を挟んで、「A級戦犯野郎」編集人原淳、「北本の韋駄天野郎」業務部椎林勉(以上敬称略)。▼そして、改めて羨ましい感じの左下写真、アンカー走者で驚異の精神力、力強い走りを見せ、勝利のわらじを奪い取ってから十五分後の英雄、渡邊寛人さんです。困っているのは、左から管理部穴澤係長、業務部片平さん、宗像さん、庄子主任です。▼さて、終了後の慰労会では、慣れない勝利で勢い余り、口が滑ったのか、来年も出ます！と宣言してしまう頼もしい「野郎」が大勢いました。やはり、勝つてのは、いいですね。

▼八月二十二日から、勤務させていただいている井開丈太郎(いかい・じょうたろう)と申します。昭和五十三年一月一日生まれ、三十五歳です。趣味はランニングとトレイルランニングです。これまでは不動産関連の仕事をしてきました。入社に先立ち、七月三十日には、新入社員研修会に参加させていただき、社長や役員、同期の方々からのご指導や刺激を受け、入社する日を楽しみにしておりました。未経験の分野ではありますが、素敵な社風を持つこの会社のために、自分何ができるかを考え、みなさんと力を合わせて仕事に励み、会社の事業を通じて社会に貢献できる人間に成長していきたいと思っております。今後のご指導をどうぞよろしくお願いいたします。



▼初めまして、七月二十五日より、東京営業所にて勤務しております林偉大(はやし・たけひろ)と申します。北海道出身の三十八歳、妻と二歳の娘、三人家族で暮らしております。趣味はサーフィン、読書など、特に他人の本棚を物色するのが好きです。これまではサービス業、アパレル業界に身を置いてましたが、より専門性が高く大きな産業で実力をつけたいと思い飛び込んでみました。今回ご縁があつて、皆様と一緒に働ける事とても嬉しく思います。東京営業所では、所長を始めベテラン先輩方の暖かいご指導を受け、充実した日々を送っております。早く仕事を覚えてチームの一員として力を発揮できるよう頑張りますので、今後とも、宜しくお願い致します。



新人さんのご紹介



▼新拠点誕生！すみません、報道が遅くなりました。七月一日より、業務部一元管理部門、「関東営業推進室」が発足しました。これまでは、同部門主軸の大桃課長代理が、八王子営業所の片隅で、仕事をしていましたが、同部門の更なる拡大のため、名実共に「室」発足となりました。東京都日野市日野本町七六三四、中央線日野駅徒歩八分、閑静な住宅街です。